

令和5年度第1回佐倉市行政評価懇話会 要録

日時	令和5年8月4日（金）14時00分～15時25分	場所	議会棟2階第2委員会室
出席者	委員出席者 7名 [委員長]小川 真実、[副委員長]伊能 敬之 [委員]浅野 隆、飯塚 香奈子、稲垣 かおる、柴倉 宏行、立崎 貴子(五十音順)		
	事務局	（企画政策部）向後企画政策部長、和田企画政策課長、秋葉主査、飯塚主査	
	その他	傍聴1名	
議事	(1) 佐倉市行政評価の概要について (2) 令和4年度佐倉市行政評価懇話会の提言に関する対応について (3) 令和4年度における各基本施策の進捗状況について (4) 令和5年度の評価対象について		
概要	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 行政評価懇話会の役割、今年度の行政評価懇話会スケジュール案、評価対象である第5次佐倉市総合計画の概要について、事務局より説明があった。 ◆ 令和4年度佐倉市行政評価懇話会の提言（令和5年3月提言）に関して、担当所属や関連所属より回答のあった現状と提言に対する今後の対応方針等について、事務局より説明があった。 ◆ 令和4年度における第5次佐倉市総合計画の基本施策進捗状況、重点目標（重点指標）の進捗状況、第2期佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標・KPI達成状況について、事務局より概要の説明があった。 ◆ 令和5年度の評価対象について重点施策と重点指標を中心に事務局より説明し、委員による協議の結果、令和4年度の評価対象は「重点目標4：計画的な施設・インフラ整備の推進、持続可能な財政運営」とすることで決定した。 		
内 容			
<p>◆部長挨拶</p> <p>今年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、国内の観光地は賑わいを取り戻し、また、インバウンドも急速に回復しているように感じている。本市においてもこの機会を逸することなく、地域の活性化に繋がるような事業・施策を展開していきたい。委員から忌憚のないご意見やご提言をいただきながら、より効果的な市政運営を進めていきたい。</p> <p>◆委員紹介</p> <p>行政機関からの委員としてご就任頂いていた栗田委員が、3月末に異動されたため、後任として、新たに所長となられた伊能敬之様に委員にご就任頂いた。なお、伊能委員には、栗田委員に引き続き、副委員長をお務め頂くことをご了承頂いている。</p> <p>◆議事</p> <p>会議及び資料の公開に関する決定</p> <p>（事務局）審議会等の会議は、佐倉市情報公開条例第20条により原則公開となっている。当懇話会の会議についても原則公開としてよろしいか。</p> <p style="text-align: right;">[「異議なし」との発言あり]</p> <p>（事務局）会議録は、会議終了後事務局で作成し、各委員に確認の上確定し、速やかに公表したい。これまで同様、要録としてよろしいか。</p> <p style="text-align: right;">[「異議なし」との発言あり]</p> <p>(1) 佐倉市行政評価の概要について</p>			

(事務局)

[資料1～4により、佐倉市の行政評価制度、行政評価懇話会の役割、令和5年度の行政評価懇話会スケジュール案、第5次佐倉市総合計画の概要について説明]

(委員長) 本懇話会において我々が検討課題とする事項の説明であったと思うが、これに対して事務局からの説明に質問等はあるか。

(委員長) 今年度のスケジュールは確定されたものか。

(事務局) 皆様のご都合を伺いながら調整させて頂く。

(2) 令和4年度佐倉市行政評価懇話会の提言に関する対応について

(事務局)

[資料5及び資料6により、令和4年度佐倉市行政評価に関する提言書の内容、また提言に関しての市の対応方針について説明]

(委員長) コロナ補正を行った理由や運用について、新任の委員もいるので詳しく説明してほしい。

(事務局) 昨年度の懇話会で、施設の利用制限のような実態を踏まえて補正を行うというような方がわかりやすいというご意見を頂いたことを踏まえ、新たに欄を設け、評価を補正する理由やその活動実績を記載している。

(委員長) 他の委員の皆様は、ご意見はあるか。

[意見無し]

(3) 令和4年度における各基本施策の進捗状況について

(事務局)

[資料7～資料9により、令和4年度における各基本施策や成果指標の進捗状況についての総括表、佐倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略の数値目標とKPI達成状況について、令和4年度における重点目標（重点指標）の内容とその進捗状況について説明]

(委員長) 事務局からの説明について意見等はあるか。

(委員長) 資料9について、重点目標3の「学習状況調査における平均正答率（基礎学力）」で「好学チャレンジプリントの活用頻度が低かった」とあるが、税金を使って用意したのであれば活用頻度が低いというのは好ましくない。

(事務局) 令和2年度にGIGAスクール構想で1人1台タブレットを購入したが、プリントからタブレットへの過渡期であり、現場も混乱した部分があったと思われる。

(委員長) 資料8について、佐倉の魅力を発信の部分はコロナの影響を受けて苦しい状況であったと拝察する。資料9について、ホームページのアクセス件数は小中学校サイトも新システムに統合して管理運用したことで大幅に目標達成したとあり、アクセス件数が伸びるのは良いことだが、それに対応したサーバーの増強は行っているのか気になった。もしダウンしたときには、市民活動に影響が出るだろう。

(事務局) ダウンしたことはない。

(委員) 今回の一覧表は見やすく、数字だけの羅列ではないため関心を持って読めた。なぜこの評価なのか、こういう状況があって評価が上がっていたというような、理由を知りたいことが書いてある。

(委員) 個人的な話になるが、タブレット端末の配布について、前年度のお子様が壊れたまま返却していたらしく、なかなか修理が終わらないまま夏休みを迎えてしまった。配布して終わりではなく、その後のフォローも大事である。

(委員長) コロナの時にパルスオキシメーターも無償で貸し出していたため回収率が低かったと聞く。義務教育は無償ではあるが、公共のものを丁寧に扱ってほしいということで、デポジット等も考えたほうがよいのでは。

(4) 令和5年度の評価対象について

(事務局)

[資料5、資料9により、第5次佐倉市総合計画の各重点指標と重点施策について説明し、4つの重点目標から今年度の評価対象となる重点目標を選定することを説明。昨年度の評価対象は、重点目標2「健康寿命の延伸・生涯活躍の場の創出」を選定し、評価対象としたことを説明。]

(委員長) 今年度の評価対象について、委員の皆様から何かご意見はあるか。

(委員) 重点目標1の産官学連携の促進に注目している。成田空港の機能拡張が控えており、成田では企業の進出等により資金需要が多い。空港関連を見据えた企業誘致や起業創業支援には力を入れるべきである。

(委員長) 今年度は令和4年度の実績が評価対象になる。重点目標1は来年度に回したほうが、成田空港関係の施策や、コロナが5類に移行したことに伴う人流の回復が期待できるのではないかと。

(事務局) 産業振興部は組織改編をして企業誘致や産業振興を目指しているところなので、5年度の実績を評価して頂くと評価結果は変わる可能性はある。

(委員長) 資料7について、行財政運営で年間時間外勤務時間の削減が進展していない理由は。

(事務局) 令和2～3年度はコロナ禍でイベントを縮小していたため時間外勤務が安定的に少なかったが、緩和によってイベントが増え、時間外勤務が増えている。

(委員) 成田空港の拡張が控える中で、人材確保競争が激化するなどの変化が生じている。

(委員長) 成田空港拡張は準備段階から各方面に影響が出始めている。今後を見据えて対策を打たなければいけないからこそ、令和5年度の評価で議論したほうがよいのではないかと。

(委員) 印旛地域全体としては新しい空港がひとつできるくらいのインパクトのある事業が数年後に控えている。佐倉市も含めて周辺の市町へも波及効果を楽しむようにしていきたい。また、中期基本計画を策定中だが、前期基本計画の評価も次の計画にうまく反映させて頂きたい。

(委員長) それでは、今年度の評価対象としては、第5次佐倉市総合計画における重点目標4の項目「計画的な施設・インフラ整備の推進、持続可能な財政運営」ということでよろしいか。

(異議なし)

(事務局) それでは、今年度の評価対象は重点目標4「計画的な施設・インフラ整備の推進、持続可能な財政運営」として、次回以降の懇話会の準備を進めさせていただく。そのほか、全体を通して、委員の皆様から何かご意見はあるか。

[各委員、意見なし]

(委員長) それでは、本日の議事はこれで終了する。

(以上)